

フラデツ・クラローベ大学
Univerzita Hradec Králové (UHK)
2022 年度 交換留学報告書
チェコ共和国

高知工科大学 経済マネジメント学群

的場圭吾



私は今回 2022 年 9 月から 2023 年 1 月までの約半年間、チェコ共和国フラデツ・クラローベ大学 (UHK)、Informatic and management に科目履修留学をしました。

ヨーロッパではエラスムスというヨーロッパ内での留学が活発的に行われており、さまざまな国

の学生が集まっています。私がチェコで得た経験とチェコやヨーロッパ、海外留学に興味を持っている方への参考としてこの報告書に綴っていきます。

留学までの手続き

留学が決まった後まず初めに直面することがビザ申請です。ビザを申請するにはさまざまな書類が必要になります。それを集めるのにも1ヶ月以上かかってしまいます。留学が決まった後はすぐに行き先の国の大使館のホームページ検索し、何をすべきかをまず確認するようにしてください。私の場合、9月に渡航で5月からビザの準備を開始しましたが、ビザが届いたのが渡航1週間前でした。

本当に大変でした。

早めから準備していきましょう。

キャンパスライフ

首都プラハから東に1時間半ほど離れた場所にフラデツクラローベ大学は位置しています。

現在は教育学部、情報経営学部、哲学部、理学部の5学部で構成されています。

キャンパスは広くフリースペースも多くあり、勉強したり、リラックスしたりすることができます。

・授業

授業は Lecture と Seminar に分かれていました。Lecture では座学がメインで Seminar ではプレゼンテーションやケーススタディがメインで行われます。

私はチェコ語と英語の言語の授業を 2 科目専門の授業を 3 科目履修していました。

マネジメント系だったので専門科目では Marketing, Project Management, Corporate Communication を現地で受けていました。

授業によるのですが専門の授業ではあまりノートを取ることがなく先生が話をし、学生に質問をしていくスタイルでした。私自身は学部で唯一の日本人だったためよくケースごとに日本の場合はどうなのかと聞かれたりしました。英語の授業では紙とペンを持つことは一切なく、会話をメインで行っていたので日本の英語の授業との違いを実感しました。

全体的に授業の雰囲気もよく少人数だったので積極的に参加することができました。

テストではペーパーテストのもあれば、オーラルテストの科目もありました。

この留学では英語を学ぶということは少なく、どんどん使っていくという実感でした。

・アクティビティー

UHK にはスポーツができるクラスもあり、私はバレーボールとスキーのコースをとっていました。

スポーツのクラスでは現地の学生が多く参加していたのでチェコの学生たちと交流ができる良い機会でした。(普通の授業ではほとんどが留学生で、あまりチェコ人の学生たちと交流する機会が少なかった。)

スキーではチェコにあるスキー場で 2 泊 3 日滞在し、スキーだけでなくナイトハイクや色々なゲームをして楽しみました。

↓ (写真下)

授業の様子、バレーボールの様子、スキー場での一枚



チェコでの生活

・衣

季節は秋と冬だったので半袖は2着しか持って行っていませんでした。10月から11月半ごろまでは長袖と1枚羽織るぐらいで過ごせていました。

11月終わりから帰国まではとても寒く、外出るのには暖かいジャケットが必須でした。ヒートテックとカイロを持っていくことをお勧めします。

・食

チェコ料理はスープや肉料理がメインでした。

外食は高めだったので基本は寮で自炊をして生活していました。私は日本食が恋しくなることを予想し、だしのもとを大量に持参していました。お米はスーパーにも売っているので持参する必要はありません。

また、『ビールを飲むためにチェコへ訪れる』と言われるほどビールが美味しいのでよく飲んでい

ました。日本のビールよりも苦くなく甘味を感じました。

ジュースを買うよりも安くビールを買うことができます。

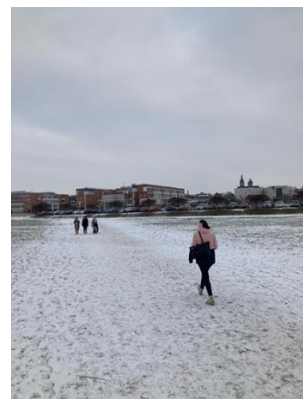
・住

キャンパスからバスで15分ほど離れた場所のドミトリーで生活をしていました。

通学はバスの定期券を買い、通学していました。

部屋はシェアルームでしたが不自由なく過ごすことができました。

スーパーやショッピングモールも近く便利な立地です。(携帯の契約や服、生活雑貨もそこで揃えました) ドミトリーにはたくさんの留学生が住んでいるので友達と集まってパーティーやそれぞれの国のご飯を作り、一緒に食べるなど楽しく過ごすことができました。



↑ (写真上)

ドミトリーでのご飯を隣の部屋の友達とよくシェアしていました
巻き寿司作りを開催

ワールドカップをドミトリーの談話室で色々な国の友達と観戦
バス停からキャンパスまでの道 (後半は常に雪が積もっていた)

休暇の過ごし方

チェコに留学したのならヨーロッパを回ることをお勧めします。

チェコは欧州の中心と呼ばれ他の国へアクセスしやすく交通費もそこまで高くありません。

フライトもタイミングが合えば2000円ほどで乗れたりもします。しかし、鉄道に分かりにくさや、遅延は噂の通り大変でした。

私はドイツ、フランス、イタリアなど様々な国を巡りました。そこでは、美術館や博物館歴史的な建造物を見ることができました。(学生ビザを提示すると入場料が無料になるところも多い)

クリスマスシーズンでは各国のクリスマスマーケットを体験することもできます。

また、それぞれの国の現地の人たちと交流することでテレビやネットだけでは得られない本当の姿を知ることができました。



↑ (写真上)

ルーブル美術館 (フランス)、ノイシュバンシュタイン城 (ドイツ)、イタリアで出会った人たちと、帰り

のドバイでの乗り継ぎ時間で観光（カンドゥーラという服を着させてもらいました）

留学を終えて

この留学生生活を振り返ると充実した生活を送ることができたと思います。

その過程では大変なこともたくさんありました。全く言葉が通じない、全く異なる文化に直面しどうしたらいいか分からないことも多くありました。しかし、それらを自分の力や周りの力を借りて解決することによって自分の成長に大きく繋がったと思います。

初めて日本という国から出て、全く異なった環境で生活を過ごしたおかげで世界から見た日本、日本から見た世界など様々な視点で物事を考えられるようになりました。

この留学で私が得たことはもちろん語学力もですが、それ以上に留学でしか得ることのできない、現地の大学、人々と同じ生活を過ごすなどの経験が自分にとって大きな財産となりました。

最後に、いま少しでも留学に興味を持ってる人がいれば、思い切って挑戦することを私はお勧めします。



本当に多くの方々に支えられてこの留学を実現することができました。サポートしてくださった
方々ありがとうございました。